2025　年度 授業計画(シラバス)

学　科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	検査機器学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期 月曜・金曜	教室名	1校舎401/501 実習室
担当教員	近藤雅史	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

顕微鏡の種類・構造原理を理解し、顕微鏡の使用ができるようにする。臨床検査に必要な機器特にピペット 分光光度計 pHメータ 遠心分離機などを中心にの原理使用方法を学び国家試験をや生理的意義を中心に講義する。データから測定原理と干渉物質の影響について理解できるようになる。

《成績評価の方法と基準》

顕微鏡:実技試験と筆記試験　検査機器:筆記試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

検査機器総論(臨床検査講座　医師薬出版)

《授業外における学習方法》

顕微鏡の操作は実際に何度も練習すること。分光光度計がしっかり使いこなせる事。

《履修に当たっての留意点》

顕微鏡の操作のしかたにより、標本の見え方が変わってくるので顕微鏡の原理、何故この操作をするかなど考えながら何度も練習してください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡の構造を理解し顕微鏡の操作の精度をあげきちんと操作できる。	自作配付資料 顕微鏡	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	光の性質・レンズの種類を知り光のどのような性質を使って顕微鏡ができているか知る。		
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡で使用する専門用語を理解し説明できるようになる。	自作配付資料 顕微鏡	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	分解能・開口数・焦点深度・収差・レンズの種類		
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	顕微鏡の基本的使用方法を理解して顕微鏡操作をできるようになる。	自作配付資料 顕微鏡	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	顕微鏡の構造を理解し顕微鏡の操作の精度をあげきちんと操作できる。		
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	その他の顕微鏡の使用方法を説明できるようになる	自作配付資料 顕微鏡	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	電子顕微鏡・位相差顕微鏡・偏向顕微鏡などの構造		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の原理について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)原理と構造		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の原理について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)原理と構造2		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の操作ができるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)実習		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	分光光度計の操作について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(分光光度計)実習2		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	遠心分離機の操作について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(pH　遠心分離機)原理と構造		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	遠心分離機の操作について説明できるようになる	テキスト プリント	授業後に授業内容をしっかり復習する。
		各コマにおける授業予定	検査機器(pH　遠心分離機)原理と構造2		
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			